

会 議 録

(9 - 1)

会議の名称		令和4年度 第3回春日部市社会教育委員会議	
開催日時		令和5年3月22日(水)	開 会 午前 ・午後 10時30分 閉 会 午前・ 午後 0時00分
開催場所		春日部市教育センター2階 視聴覚ホール	
議長(会長等)氏名		委員長 比嘉 里奈	
出席者	委員氏名	(出席人数：12人) 三浦 裕、関 正一、高山 まさ子、松田 洋子、沖田 隆一、 今村 純雄、樺田 正俊、石倉 絵美子、比嘉 里奈、中島 信一、 山田 農久、相田 千代子	
	説明者 その他	(出席人数： 人)	
	事務局	(出席人数： 5人) 社会教育部長 大川 裕之 社会教育部次長兼社会教育課長 神谷 司 社会教育担当主幹 鐘ヶ江 栄喜、社会教育担当主査 大塚 佐夜香 社会教育担当主任 山品 健太	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		開会、あいさつ 議事1 研究テーマ デジタル社会における社会教育について「社会教育におけるデジタル活用の現状調査からの課題・改善策について」 報告1 各委員会等の報告について 事務連絡、閉会 (全て公開)	
一部公開・非公開の場合はその理由		非公開部分はありません	
配布資料		資料1 研究テーマ デジタル社会における社会教育について「社会教育におけるデジタル活用の現状調査からの課題・改善策について」 資料2 各委員会等の報告	
会議録の作成方法		■ 録音テープ等を使用した要点記録	
会議録署名の指定		春日部市社会教育委員会議運営要領第3条第2項により会議の署名は、委員長が行う。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>1 2名の出席があり、春日部市社会教育委員会議規則第3条の定める定足数に達していることの報告。</p> <p>会議公開制度に基づき、議事の全てを公開とし、傍聴者数5名以内とするものの報告。</p>
委員長	<p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>【議事1】研究テーマ デジタル社会における社会教育について「社会教育におけるデジタル活用の現状調査からの課題・改善策について」</p>
議 長	<p>「議事1 研究テーマ デジタル社会における社会教育について「社会教育におけるデジタル活用の現状調査からの課題・改善策について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料1により事務局から説明)</p>
議 長	<p>ただいまの説明内容について、大きく3つに分かれていますので、まずデジタルツール・デジタルサービスを活用した社会教育事業への参加についての個人についてのご意見・ご質問はございますか。</p>
委 員	<p>パソコンやスマホを持っていない、または操作が苦手は、70歳以上が多いようですが、高齢者が実際パソコンやスマホをどのくらい保有しているというデータはありますか。</p>
事務局	<p>パソコンやスマホの保有率の調査データはございません。</p>
委 員	<p>資料は意見をまとめたものですか、それとも意見そのままですか。</p>
事務局	<p>枠で囲んだ部分は、いただいた意見を載せています。上段は意見をまとめたものです。いただいた意見と会議での意見をもとにして提言を作成していきたいと考えています。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	<p>どうしたらいいのかがないと提言にならないと思います。意外だったのは、65歳以下の方が少ないと思いました。65歳以上はデジタルに興味を持たないし、生活には困らないのでパソコンなどを覚えたいとは思わない人は結構います。この年代の人たちが居なくならないうちは、真のデジタル化にはならないと感じます。</p>
議 長	<p>今の若い人たちが中間層になれば、デジタル化社会になっていくんだろうと思います。そのあたりを踏まえてご意見はございますか。</p>
委 員	<p>デジタル化は便利で素晴らしいと思いますが、懸念しているのは詐欺です。便利さ故の怖さもあり、冒険はしたくないです。いつかはデジタルが盛んに行われる社会は必ず来ると思いますので、機器も必要です。</p>
委 員	<p>税務関係などをスマホでやり取りできるようになっています。年齢に関係なく、デジタルやオンラインがわからない人がいるところからスタートしないといけないと思います。学校では勉強されていると思いますが、教え合える場所や機会を作るような場所にしてほしいと思います。</p>
議 長	<p>デジタルツールやデジタルサービスが周知されていなかったり、周知されていても複雑で、利用に至らない人が多いと思います。デジタルツールを利用しなくても丸投げして作業はしてもらえるといます。いただいた意見の中で、世代間での情報共有をした方がいいという意見がありました。一方、一方でそうでもないというご意見もあります。それについてご意見はございますか。</p>
委 員	<p>私の父に教えてあげてもわからない、やらない、興味をもってもらえないので難しかったです。情報格差のことを書かせていただいたが、若い人の中でも、色々な情報があって、アプリがわからないとついていけないということがあるので、わかる人は進んでいくが、わからない人は取り残されていく形で格差ができて、高齢者に関わらず、若い人でも同じなのではないかと思っています。</p>
議 長	<p>教育現場でも様々対応されているかと思いますが、いかがでしょうか。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	<p>学校現場では、コロナになりましてG I G Aスクール構想で、一人一端末が提供され、デジタルとアナログ併用されています。やはりコミュニティや人の交流、伝達など肝心なことを忘れずに、授業の中で子供たちが意見を書いたものを一つに集約したりと、黒板に書いていた時間が少なくなりました。若い先生もそうなのですが、技術に長けた先生もいて、動画などを作成し、保管もできます。できないことをどのようにやればできるかという発想で3年間やってきましたが、いまは更にデジタルが学習を高めることに有効かどうかで、授業や行事、保護者会などで提供しながら、学習や体験に取り組んでいるところです。先生ですら使い方の差があったら、授業に差がでてくるし学力格差にもなります。得意ではない人も得意な人も、まずは使ってみないとわからないという中で取り組んでいます。社会教育では、指南がもっと充実しないと進行しないと思いますが、少しずつでもアドバイスコナーや広報などで紹介していただき、地域の人々のために、社会教育的活動をしていくしかないと思います。</p>
議 長	<p>保護者の方でもG I G Aスクール構想でタブレット端末が届き、ある学校で授業参観を配信するため、自宅でタブレット端末を使わせたところ、自分の子ども見たさに必死で操作したということです。どれだけ使う状況に迫られるかということだと思います。便利だからと言われても生活に支障がなければ使わないと思うところはあります。</p>
委 員	<p>デジタルはあくまでも手段や方策であって、目的ではないと思います。デジタル授業はセカンドベストな方法であって、ベストではない。これを組み合わせると良いと思うこともあります。授業ではグルーピングもできるし、休んでいる生徒の対応もできますが、黒板を使って集まる授業もあるのでベストではないと思います。色々な方策を組み合わせながら目的に向かっていくことが大事で、5年、10年先をどうするか、目的を組んで予算取りしていくのが必要だと思います。ベストミックスで色々な方法を組み合わせる現状でできることやっていく、ただ実際使えない方々が取り残されることはあってはいけないことで、当面組み合わせるやっていくしかないと思います。</p>
議 長	<p>個人団体に関係なくご意見もありましたが、団体の方でご意見はござ</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議 長	いますか。
委 員	<p>団体でデジタルツール・デジタルサービスを活用するという事は、他の団体とのコミュニケーションをとるのには良いのですが、年配の人たちに対するデジタルと、若い人たちに対するデジタルは区別して教えていくことも必要だと思います。若い人たちと同じように歩もうとするからおかしくなるのではないかと思います。</p>
委 員	<p>70歳以上の方がデジタル・オンラインをどれだけやりたいのかの意見も欲しかったです。</p>
委 員	<p>次世代の子どもたちは、当たり前で操作ができますが、私たちの年代は一からスタートになります。今は書類もパソコンで操作することもあります。必要に迫られてやっています。折り合いをつけて、どちらがよい悪いということではないと思います。</p>
議 長	<p>これからの若い人たちと、今現在頑張っていかななくてはいけない人たちとの差は開く一方だと思いますが、それでもデジタル社会は進んでいくので、触れざるを得ないところはあると思います。ご意見の中に、いつでも学べる環境があればいい、研修に参加するのがいい、同じ研修でなくてもいいという意見がありましたが、中間層から年配の人たちに向けて、どのような学べる環境や研修があればいいというご意見はございますか。</p>
委 員	<p>ただの機器の研修会では行かないと思います。私は社会科で歴史が好きで学んで、わからないところを図書館で探すのですが、それでも難しいですが、スマホで調べるとすぐ出てきて便利だと思います。ただ、コミュニケーションが取れなかったり、ストレスが溜まるなどの反面もあります。興味があるような内容でゆっくり楽しく広まるような研修になるように工夫すると思います。</p>
委 員	<p>インターネットで調べたりすることなのか、エクセルを使うことなのか、学校では何のためにデジタルツールを使っていますか。教科書の資料を深めるためですか。エキスパートになっていくということではない</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	と思いますが、どうでしょうか。
委 員	<p>学校では、意見が人それぞれあって出したときに、大勢を占める意見が目に入ってきたり、それを元に話し合ったり、深めたりすることにデジタルツールを使用しています。今までは紙に書いたり、黒板に書いたりしている間に時間が経ってしまうことには有効で、ねらいとテーマを持ってツールとして使っています。時には、色々な課題があります。情報セキュリティの問題、責任ややっていいことと悪いことなどもきちんとしなければいけない。一方、自分の世界に入ってしまったら会話がなくなってしまうがちなので、人の思いを伝えあったり、自分を表現する力に発展していかなくならないようにしています。</p>
議 長	<p>保護者の立場で研修を受けた時に、文房具が一つ増えるだけで、使うことが目的ではなく、使われた先にどんな学びがそこにあるかが大事だと言われました。子供たちに、対話や関わりが減ってしまったら意味がないと思いました。研修については、大掛かりな研修というよりは、趣味で集まった人たちと共有するために利用するというように、一緒に調べながら自らも学ぶという形だったり、家庭で子供たちから学ぶことも学べる環境ではないかと思います。日常が学びの場でないかと思いました。他にご意見はございますか。</p>
委 員	<p>社会はデジタル化が進んでいますが、核家族化も進んでいます。祖父母も遠くにいて、会話がな。そんな中で学び合う機会を設けるために、堅苦しくなく、スマホを学びたい人がいれば来てもらい、先生は中学生や高校生になってもらう。中学生や高校生は話し方の勉強になるし、教わる側もコミュニケーションが高まるのではないかと思います。災害を取り上げてもらって、体験談を聞くと記憶に残ります。そういった学び合いの機会を市が主導して設けると、堅苦しくない研修になるのではないかと思います。</p>
委 員	<p>研修をやっていくのに、使い方だけでないと思います。セキュリティや個人情報の問題があります。学校では交通安全指導をするように、SNSで炎上しないようにという指導も授業の合間にしなくてははいけない。学校ではそういう研修も外部講師を呼んで実施しています。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議 長	行政についてのご意見はございますか。
委 員	今回の意見を出すのに大変悩みました。行政に対してですが、34事業があり、よく取り組んでいると思いますが、電子図書館についてよくわからないので教えていただきたい。
事務局	図書館は、現地に行って本を借りて読んだら返すという一般的なやり取りだと思いますが、電子図書館は、家にいながらスマートフォンやパソコンで見られます。一番のメリットはわざわざ図書館に返す必要がないという点です。一方で、全部の本が電子化されていないので、紙の本には追い付いていませんが、一部の本については自宅にいながら見られます。また、返す手間については、一定期間を過ぎると見られなくなる仕組みで、春日部市は平成29年からサービスを実施していて、年々利用者も多くなっています。
委 員	今までの皆さんの意見や資料を見ると、60歳以上の人をどうするかになってくるように思います。みんな知っているから置いてきぼりになっている。例えば、応募なども昔は電話やFAXでしたが、最近はWeb申込で電話申込はないため、できない人は最初から参加できない。講習会をやればよいという簡単なことではなく、誰がどこでやるのが問題だと思います。
議 長	情報格差ができないために、行政側にやってもらいたいことなどについてのご意見はございますか。
委 員	高齢者は必要に迫られないとやらないと思います。楽しさがわかってくると違うと思います。さきほどご意見でありましたが、子どもが先生になるのはいいと思いました。小学校との連携事業があると思いますが、それと同じような形で、中学生や高校生になると勉強やスポーツなどで難しいけれど、小学生であれば高齢者の方と向き合うということができるとは思いません。
委 員	学校の放課後に高齢者と子どもとの接点として、パソコン教室などができるのではと思います。放課後子ども教室で将棋や囲碁などをやって

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	いると思うのですが、その中にパソコン教室を入れて高齢者が来られるような環境にすることはできないかと思います。
議 長	放課後子ども教室のコーディネーターをしているので、十分可能だと思います。ただコロナ禍で、地域の方たちに入っていただく講座は減らしている現状ですが、そろそろ地域の方たちとともにという講座が開催されると思いますので、ご意見をもとに放課後子ども教室にも伝わるのではないかと思います。学校の現場でも地域の方たちと関わっていくことはあるのではないかと思います。
委 員	放課後子ども教室は高齢者が子どもたちに教えていますが、それを逆にして、子どもが教えるので来てくださいという形ではないかと思います。楽しく子どもに教わることに興味を持つことをするといいと思いますが、家の中に籠ってる人は多いし、人とつながる必要はないと思う人も多いので、難しい問題だと思います。
議 長	皆様からいただいたご意見を元に次年度は提言の策定に取り組んでいくこととなります。今後の研究・協議の進め方について、事務局の方で案はありますか。
事務局	(事務局案を説明)
議 長	ただいまの事務局案について、ご意見、ご質問等ございますか。事務局案のとおり進める方向でよろしいでしょうか。
委 員	異議なし。 《事務局案承認》
議 長	4 報告 【報告1】各委員会等の報告について (資料2により報告) (議長解任)

